

食事摂取量計測システムとその検証

高知工科大学 地域連携機構 連携研究センター
知的認識システム開発研究室 室長
システム工学群 教授 竹田 史章

【研究シーズ概要】

本システムは最新のニューラルネットワークなどの知能化技術と先進的画像処理技術により院内の残食をカメラで撮像した画像で判断し、残食に応じたカロリー、塩分、たんぱく質などの18種類に及ぶ栄養素を正確に計測するシステムである。特に、中長期の栄養診断の支援目的で業界関係団体の依頼を受けて研究開発を実施したものであり、臨床テストにおいても人の判断と比較して80%以上の整合性を有している。



実験筐体外観

